

慶應義塾大学 文学部

国文学専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下のカリキュラムを編成する。

1. 国文学ならびに日本語学、漢文学の諸分野にわたって広範囲に講義科目群を設置するとともに、日本語教育学、書誌学（斯道文庫設置講座）等の関連科目をも開講することで、国文学・日本語学を基軸とした日本文化に関する広範な専門知識を培う。また、「国文学原典講読」を必修の少人数科目として設置し、本文読解能力（古典文法、古典語彙のほか変体仮名読解等の能力を養成）、資料・データ収集技能、分析・考察力、構成力、プレゼンテーション能力を養成する。
2. 演習科目を複数履修させることで、国文学ならびに日本語学のさまざまな分野の研究技法を具体的に体験させ習熟をはかるとともに、論理的・批判的思考の訓練をおこなう。さらに、自立的かつ自律的に研究にむかう姿勢の重要性に気付かせ、独力で問題を解決しうる能力を涵養する。
3. 卒業論文の執筆を可能とするため、指導教員の「研究会」に分属し、問題発見能力、高度な調査能力および論述能力を養うとともに、研究テーマについての知識を深め、あわせて指導教員から個別に論文指導を受けて、卒業論文を独力で完成させる。
4. それを専門に扱う科目はもうけていないが、自国文化の深い理解が高度な異文化理解につながることを理解させるよう、各科目のなかに比較・対照的観点を取り入れることに努めている。